

(特別支援学校版「学力向上実行プラン」様式)

平成31年度 池田支援学校 美馬分校 「学力向上実行プラン」

池田支援学校長
(美馬分校)

榊 浩一



1 学力向上検討委員会構成

学 力 上 向 検 討 委 員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校長 教頭	榊 浩一 西 直子
学力向上推進員	教諭 高等部長	庄野 京
委員	教諭 教育総務課長 教諭 総合支援課長 教諭 学校生活課長	長尾 裕子 佐藤 玲子 吉本 貴明

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

【3つの視点】

- (1)基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

(高等部) 幼 児 児 童 生 徒 の 状 況		
よ さ	昨年度は、各技能検定において、生徒一人一人の特性に配慮した支援のあり方を検討した結果、各技能検定の技術を身につける事で、自信を高め、就労への意識の向上を図ることができた。また、「支援学校みまカフェ」の仕事に携わる事への意欲も高まった。	課題 技能検定等の技術の獲得には積極的に取り組むことはできるが、就労及び職業生活においては、生活していく力が十分備わっていない。また、自己理解や主体性・忍耐力の育成も課題となる。
具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
①卒業後の生活を見据えて、自分の具体的な目標を知り、働く・暮らす・楽しむに関する目標の達成に向けて、主体的に取り組む。 ②就労及び職業生活について学び、基礎的・基本的な資質と実践力を身につける。	①個別の指導計画の就労及び生活指導に関する目標の達成率が、80%以上である。 ②外部講師を招いたキャリア教育の授業を実施し、各学期末に生徒対象のアンケート調査を行い、教員全員で検証する。	評価
具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
①複数の教員で当たる教科等の授業において(作業学習、家庭、保健体育)、一人一人のニーズや課題に応じるために、学習グループの教員全員で情報を共有し、協議検討した上で目標を設定する。また、数値目標の達成度及び習熟度についての評価も行う。 ②外部講師を招いた就労及び職業生活についての授業を企画運営する。	①情報共有のための会を、各学期の目標設定時と学期末の評価時にそれぞれ年間2回行う。 ②就労及び職業生活に関する授業を年10回実施する。また、生徒アンケート調査の結果を検証し、今後の課題を見つける。	
* 中間期の見直し		
達成状況を踏まえた改善事項		